

校長だより

平成22年6月17日(木)

県立読谷高等学校

校長 與那覇 健勇

～軌跡のノートで奇蹟を～

県高校総体、読高の男女総合成績は17位で、昨年の20位から3つ上がってとても嬉しいです。本当に生徒たちの頑張りを支え、指導なされた先生方に感謝します。

来年はさらに3つ上げて、14位くらいになればいいなあと思います。

さて、三年生にとっては総体で引退という運動系の部活動が多い中、いよいよ進路の選択を迫られ、本腰を入れてその準備に取りかかる時期になりました。

去る5月23日のPTA総会でもお話しましたが、全県的に家庭学習をしないという課題が浮き彫りになっている現在、もう一度初心に立ち返って家庭でいかに勉強する習慣をつくるかの具現化にむけた取組の一つとして「軌跡のノート」を活用させたいと思います。

これは、家庭で勉強した足跡を記し、その積み重ねにより奇蹟を生むことを期待しての新しい取組です。一冊目を使い終わると二冊目、三冊目を無償で提供するというものです。

本校では平成13年から「ボールペン使い切り運動」を展開して、一定の成果を上げました。内外からも賞賛の評価を受け、多くの学校で同様の取組がなされましたが、本校が元祖です。この軌跡のノートはボールペンとは異なり、勉強で苦勞した足跡を眺めることができ、繰り返し繰り返し学習ができる点でボールペンにないメリットが生まれます。このダブルの効果で勉強

を楽しく継続させようとの願いが込められます。三年生は言うまでもなく、全読高生が目の色を変えて果敢に学習に取り組むきっかけになればと思います。

